

特
集

「すばらしい町・誇りに思う」

～「いのちの作法」中学生の感想～



沢内中学校の上映会であいさつするプロデューサーの都鳥兄弟（「いのちの作法」ホームページから）

2月26日沢内中学校での上映会の感想が「いのちの作法」のホームページに掲載されています。関係者の承諾を得て本紙に転載し、両面特集でご紹介します。（紙面の都合で各感想文とも一部割愛して掲載しました。）

誇りに思う沢内在住

深澤村長の功績は授業でも調べて知っていました。映像でまとめたものを見て、もっと詳しく知ることが出来、沢内に住んでいることを誇りに感じました。

これからもこのような映画などを通して、地域の大切さを実感できれば良いと思います。（1年男子）

西和賀はすばらしいお年寄りや障がい者の方を地域として支え、共に生

活していく人々がいるこの

西和賀町はとてもすばらしいと思います。また、一人一人が人としてすばらしい生き方をしていると思います。この地域に住んでいる方々の生き方を私のこれからの生活に役立てていきたいと思えます。（1年女子）

次は僕らが伝える番
印象に残った言葉は「いのちの作法」と「人とのつながり」「器の大きさ」です。

いのちの作法は時代が変わっても人々によってちゃんと伝わってきているんだということがとてもよく分かったし、この西和賀町はとても器の大きい人がたくさんいると思ひ、うれしかったです。

（2年男子）

「いのちの作法」を今度は僕たちが伝えていかなければいけないと思いました。

人々の温かさに感動

雪見ぞりの場面が印象に残りました。お年寄りが寒

くないように湯たんぽを入

れたり、そりが滑るように雪を敷いたり、気配りが温かいと思いました。見ながら、こんなにいい町に生まれて良かった、と思ひました。そして、私もそんなふうに優しい人になれたらいいと思ひました。西和賀町はいい地域だと改めて思ひました。（2年女子）

弱者助けられる人に

私は、100歳になったおじさんが自分の娘を心配してワークステーションまで見に行くシーンがとても印象に残っています。

いくら娘に障害があっても親子は親子なんだ、と思ひました。私もこれからもっともつと家族を大切にしていきたいし、障がい者やお年寄りの人々の手助けができるようになりたいと思ひます。今日は、改めて西和賀の良さを知ることができて良かったです。

（3年女子）

「いのちの作法」 中学生の感想

～沢内中学校の上映会から～

感想文はいずれも中学生の豊かな感性が銀幕の心に触れて奏でる「いのちの讃歌」ともいえそうです。「深澤語録を訪ねて」と「編集余録」はお休みします。



「いのちの作法」 ホームページから
映画の予告編より

自分も沢内人の一人
自分の知らない沢内の神
秘さや暖かい心を映画で知
ることができて良かった。
他の地域に行っても、私の
ふるさとはいつか帰ってき
ても温かく迎えてくれる人
がたくさんいて、とてもい
いところだと思った。
一番印象に残っているこ
とは「箱そり」のところだ
す。地域が一つになって雪
を道路に敷いたりしていて、
やはりここは特別な場所だ

と思った。自分も沢内の一
人だと考え、行動していき
たいと思った。(3年男子)

幸せな自分に気づく

この映画は「いのち」に
ついてとても深く考えさせ
られる映画で、この世の中
には親がいない子供や親か
ら虐待を受けている子供が
たくさんいることを知りま
した。私はそれに比べてと
ても幸せに暮らしていること
とてもすばらしい環境に恵
まれ暮らしていることに気
付かされました。普段、何
気ない時を過ごしています
が、一日一日をしつかり噛
みしめながら生きていくこ
うと思います。(3年女子)

多くの人に見せたい

特に印象に残ったのは、み
どり学園の子供達が西和賀
を訪問し、各家庭に滞在し
ている場面です。「他人だ
から気を使う」のではなく
「他人だからこそ素直に受
け入れ、家族の一員として
過ごす」このような気持ち

の持ち方はそうできるもの
ではないと思います。

もう一つは「地方は切り
捨てられる」という言葉で
す。地方を重視し大切にし
ていく姿勢が必要だと思
います。僕はこの映画をも
つと多くの人に見てもらいた
いです。(3年男子)

命に向き合い大切に

私はこの映画を見るのは
初めてですが、何度でもみ
たいと思うような内容でし
た。この映画を見て一人一
人が命に対して真剣に向き
合い、命を大切にすること
がどんなに重要か分かりま
した。そして、障害を持つ
た人やそうでない人が共存

できる環境の沢内はすばら
しいと思いました。(3年女子)

田舎でも誇りに思う

「田舎は嫌いだ」それが
自分の本心です。この映画
を見た後もそれは変わら
ません。ですが、西和賀町に
対する考えは変わりました。
先進国である日本の中で、
過疎化が進んでいる岩手で
も、悪いことばかりではな
い気がしました。田舎だか
らこそ暖かさや優しさを
見つけるきっかけになりま
した。田舎に住みたいとは
思いません。でも、ここで
生活した日々を誇りに思え
る気がします。(3年男子)

上映会案内

「いのちの作法」 一般対象上映会のご案内です。

▼7月12日、18日(1週間限定)ロードショー(毎日10時40分、14時20分、19時) 会場/宮古市みやこシネマリオン
▼7月21日 15時30分開場 会場/北上市さくらホール
▼7月23日 13時16時開場 会場/一関市文化センター
▼7月26日 開始時間調整中 会場/長野県下田市豊田公民館(岩手宮城内陸地震チャリティー上映会) ▼7月26日 10時30分
14時17時30分 会場/三戸市ビックセンターホール